



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

鍋料理に思うこと

園長 宮竹 恒

中秋の良き日に、「亀山学園」、「若竹学園」合同の月見茶会が行われました。夜空を眺めながら、「寄せ鍋」「豚骨味噌鍋」「塩ちゃんこ鍋」の三種類の鍋を作り食べたことは、子ども達にとって楽しい思い出となりました。一緒に楽しい時間を作って頂いた亀山学園の子ども達、職員の方々に感謝しています。

学園の子ども達にとって、鍋料理はとても大切なメニューの一つであると思います。学園には、「誕生日メニュー」というものがあります。誕生月の子どもが自分の食べたいと思う料理をリクエストし、昼食、あるいは夕食時にみんなで御祝いしながら食べています。今月は、「誕生日メニュー」に鍋料理をリクエストする子どもが重なり、月見茶会の翌日に「トマト鍋」、同じ週に「キムチ鍋」が誕生日メニューとして登場しました。

鍋料理は、リクエストした子どもにとっても、一緒に食べる子どもにとっても嬉しい様子が伺えます。子ども達にとって、鍋料理は「おいしい」と思えるだけでなく、一緒に食べること自体が楽しい時間であるように感じます。そうして、良い思い出の一つとして記憶に残り、「また食べたい」と思うようになるのだと思います。

さて、鍋料理には、様々な食材を使いますが、スープの種類によってずいぶん味が変わります。また、色々な食材の味が仲良く一緒になってより良い味になることも多くあります。「鍋料理」は、

「鍋料理」を食べている子ども達の姿と、重なって見えることがあります。

子ども達は一人一人が、様々な個性を持っています。子ども達が個性を活かして、自分の意見や気持ちを言えることがとても大切なことであると思っています。

同時に、他の人と調和して生きていくことも大切なことであると思います。鍋料理と一緒に食べている子ども達は、あまり無理することなく調和しているように感じます。「スープに当たるものは何であろうか？」と考えます。広く考えると、宇宙の中の地球、そして日本という国、香川県という地域に当たるのかもしれないと思います。

子ども達の生活の中では、「若竹学園」の中の各フロアに当たるかもしれません。「亀山学園」「若竹学園」合同の月見茶会の席では、普段とは違ったスープの中に入った子ども達が、上手に調和していたように感じました。

これから、子ども達が大人になり、巣立っていく先は、日本とは全く文化の違う外国の可能性もあると思います。また、日本に住んでいても外国から来られた沢山の方々と共に生きる社会になっているかもしれません。

子ども達が、学園での生活を通し、自分の大切な個性を活かし、社会で調和し生きていく力を身に付けていくことを願っています。 —了—



青峰・若竹学級だより 9月

夏休みが終わり 2 学期が始まりました。記録的な猛暑も落ち着き、涼しくなってきた 9 月、子どもたちは毎日元気に登校し、落ち着いて学校生活を送ることができています。新たに入所した児童・生徒も加わり人数も増えて、それぞれの目標に向かって頑張っています。

始業式

8 月 27 日に始業式を行いました。夏休みが明けて全員笑顔で元気に登校し、始業式に参加しました。久しぶりの学校に少しそわそわしている子どもたちでしたが、式が始まると非常に落ち着いてしっかりと話を聞くことができていま



きていました。2 学期のよいスタートができました。

水泳学習

まだまだ暑さが厳しかった 8 月末、今年度最後の水泳学習を行いました。これまで練習してきたことを思い出しながら、それぞれ一生懸命練習に取り組んだり、記録に挑戦したりする姿が見られました。後半は遊具を使用して遊び、今年最後の水泳を思う存分楽しんでいました。



授業の様子

2 学期が始まり小学生、中学生共に意欲的に学習に取り組んでいます。小学生は図工の時間にスライム作りを行い、色や固さを工夫しながら楽しんで取り組んでいました。中学生は診断テ



ストを終え、中間テストに向けて頑張っています。

小・中合同家庭科

小・中合同でなみ縫い、まつり縫いとボタンつけの練習をしました。事前に小学生は授業で使う布にアイロンをかけて準備し、中学生は縫い方を学習して授業に参加しました。お互いに教え合いながらよく集中して取り組む様子が見られました。



レオマワールド

9 月 19 日 毎年恒例のレオマワールド社会体験事業に参加しました。天気がどうなるか心配していましたが、子ども達の楽しみにしている思いが叶い、晴天に恵まれました。

班ごとに別れて入場が始まると自分たちの乗りたいアトラクションに走って向かう子ども達の姿が印象的でした。

子ども達に人気だったのは、絶叫系のジェットコースターやゴーカートでした。何度も同じアトラクションに乗る子どももいました。子ども達は、思い思いに一日を楽しむことが出来た様子でした。

友達や学校の先生・職員と一緒に楽しい時間を過ごす事が出来たことは、子ども達にとって大切な思い出になりました。



ゴーカートは待ち時間が長かったけど楽しかった。ジェットコースターにも何回も乗ったよ。(中学 3 年男児)

室内コースターが楽しかったよ。
(中学 1 年男児)

月見茶会（亀山学園合同）

9 月 22 日、亀山学園と合同でお月見茶会を行いました。夏祭り以外で亀山学園の方々と交流する機会はありませんので子ども達も楽しみ半分、緊張半分でした。

お月見茶会は自分達で鍋を作る所から始まりました。中学 3 年生を中心に 3 種類の鍋を作ることが出来ました。

鍋を食べながら始まったのは、カラオケ大会です。最初は、大勢の人の前で歌うのは恥ずかしかったのか、行ったり来たりと迷う子もいましたが、「歌うぞ！！」と覚悟を決めて歌うことが出来ました。一度歌った後は、慣れたのか何度も歌いに行っていました。



カラオケ大会の後は、ビンゴ大会です。数字が読まれてリーチになっていくと、子ども達の目が真剣になっていくのが分かりました。ビンゴになると、大きな声で叫んでお菓子をうれしそうに取りに行く子ども達の姿が印象的でした。

今回のお月見茶会が終わって、「また来年もやりたいな」、「今度は鍋もつくってみたい」と来年も楽しみにすることが多く、充実した時間を過ごすことが出来ました。



食育

今月の食育は、お月見にちなんで団子を作りました。普通の丸いお団子だけでなく、星やハートなど個性的な形にしたり、ビッグサイズにしてみたりと、みんな思い思いに形作っていました。トッピングは、きな粉、黒蜜、生クリーム、チョコソース、はちみつの 5 種類用意しましたが、好きな物だけをつけたり、いろいろ混ぜ合わせてオリジナルの味を作ったりして楽しんでいました。



月見茶会

例年この時期は喝破道場主催の月見茶会に参加していました。しかし月見茶会は去年で終了となっており、今年は新しく若竹学園で月見茶会を考えようという話になりました。

新しい行事を 1 から考えることはなかなか大変で、職員の間で沢山話し合いを行い、お月見をしてみてもどうか、といった意見や、お月見だんごを皆で作ってみてもどうか、といった意見、秋を楽しめるような行事を考えてみるもどうか、など、様々な意見が出てきました。そして、話し合いをしていくなかで、子ども達が何か楽しいと思えるようなことをしてはどうか、という話になっていきました。そして 9 月の終わりが近づいた連休最終日、新しい試みを行いました。

一つ目は、『食欲の秋』にちなんで好きなものをお腹一杯食べてもらいたいという思いから、子ども達の人気の高い食事を用意しました。朝食はサンドイッチ、昼食は焼きそば おやつはスイートポテト、夕食は、カレー&唐揚げでした。からあげはたくさん用意してもらい、皆お腹いっぱい食べていました。

2 つ目は、子ども達が楽しめる行事として『屋上お月見会 (食事&花火)』天候の悪い日プランとして食事をしながら映画を鑑賞する『若竹子ども映画食堂』を準備しました。

さあ当日、朝天気が悪く残念ながらお月さまは顔を出してくれませんでした。その為、今回は『若竹子ども映画食堂』を実施することになりました。

映画のチケット、ポップコーンも準備し臨んだ『若竹子ども映画食堂』は子どもたちにも好評でした。お月見とは違うけれど、お腹

いっぱい食べ、映画も観ることが出来て、子ども達にとってよい体験になったのではないかと思います。



~御寄附ありがとうございました~

株 日光商事様

お菓子 沢山

9 月 行事

- 15 日 図書館
- 19 日 レオマワールド社会体験事業
- 20 日 買物学習
- 22 日 亀山学園月見茶会
- 24 日 若竹学園月見茶会

在籍人数

平成 30 年 10 月 1 日 現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	1	5
	中学生	4	3	7
	その他	0	0	0
	計	8	4	12
女 子	小学生	0	1	1
	中学生	4	2	6
	その他	0	0	0
	計	4	3	7
合計		12	7	19

編集後記

朝晩だいぶ冷え込み、秋を感じさせる季節になってきました。子ども達と季節の移ろいを感じながら日々楽しく過ごしていきたいと思えます。

セラピスト 平野佑馬

第 296 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

E メール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒